

特集

知って備えよう！ 大雨や土砂災害に！

～日頃の備えと早めの避難～

☎ 危機管理課（内線 354）

気象庁は、大雨や地震などの重大な災害の発生する恐れがある場合に、警報を発表して警戒を呼びかけます。これに加え、警報の発表基準をはるかに超える大雨などが予想され、重大な災害の起こる可能性が著しく高まっている場合は「特別警報」を発表し、最大級の警戒を呼び掛けます。

特別警報が発表された場合は、これまでに経験したことのないような、重大な危険が差し迫った状況にあります。直ちに避難情報に

大雨特別警報

土砂災害警戒情報は、過去に発生した土砂災害を調査し「この基準を超えると、過去の重大な土砂災害の発生時に匹敵する極めて危険な状況となり、この段階では命に危険が及ぶような土砂災害がすでに発生しているもおおしくなく、土砂災害から命を守るために



▲河川が氾濫する平成12年の恵那豪雨災害

6月29日から7月8日にかけて発生した、西日本を中心とした未曾有の豪雨で14府県で219人が亡くなり、10人の安否が今なお不明となっています（7月24日午前11時45分内閣府発表）。

この豪雨では、西日本から東日本までの広い範囲で記録的な大雨が続き、岐阜県をはじめ佐賀県や長崎県、福岡県、高知県、愛媛県、鳥取県、広島県、岡山県、兵庫県、京都府に大雨特別警報が発表されました。期間降水量は高知県安芸郡馬路村の1852mmを最大で、岐阜県関市板取では1161mmを記録しました。

土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報は、大雨（土砂災害・浸水害）警報が発表されている状況で、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、市町村の避難勧告や住民の自主避難の判断を支援するよう、市町村を特定して警戒を呼び掛ける情報です。都道府県と気象庁が共同で発表します。

土砂災害警戒情報は、過去に発生した土砂災害を調査し「この基準を超えると、過去の重大な土砂災害の発生時に匹敵する極めて危険な状況となり、この段階では命に危険が及ぶような土砂災害がすでに発生しているもおおしくなく、土砂災害から命を守るために

は、この基準を超えるのを待つてからではなく、この基準に到達することが予測された時点で避難を開始する必要があります。避難にかかる時間を考慮して、2時間先までに基準に達すると予測されたときに速やかに発表されます。土砂災害警戒情報が発表されたときには、速やかに避難を開始してください。周囲の状況や雨の降り方にも留意し、危険を感じたらためらうことなく自主避難をしてください。

物知りおじさんのふるさと情報



明智地域自治区会長
杉山 淳さん
(明智町)

今月の物知りおじさん

戦乱の世に輝く 郷土の武士明智光秀

明智光秀の前半生は謎ばかりです。県内でも出生地とされる場所が数カ所あり、はっきりしたことは分かりませんが、明智町にも光秀にまつわる史跡が多く残されています。その一つに光秀の母親である「お牧の方」の墓所とされている史跡があります。

民により石碑が建立されました。当時の世評をおもんぼかって、南無阿弥陀如来のみ刻まれたことや、ご神木に、お牧の方にちなみコウヤマキが植えられていることから、領民が今日まで大切に守り続けたのはお牧の方の墓所であり、光秀誕生の証だと思えます。

2020年のNHK大河ドラマが光秀の前半生に光を当てた「麒麟がくる」に決定しました。朝ドラに次ぐ大きな話題となるよう、これを機に大いに盛り上げていきたいと思えます。



▲「お牧の方」の墓所といわれる史跡

ふるさとに学び郷土愛を育む、毎月第3日曜日は「恵那市読書の日」
市中央図書館・伊藤文庫

広報えな 8月号 目次

- 3 特集 知って備えよう！
大雨や土砂災害に！
- 8 注目情報
- 10 お知らせ
- 16 みんなの掲示板・おくやみ健康ガイド
- 19 子育て支援センター・相談
- 20 地域情報トピックス
- 21 図書館・文化施設情報
- 22 エーナの社会見学
ビジネスサポートセンター
健幸レシビ・男女共同参画
- 24 出生・1歳になりました
園・小中学校トピックス
- 25 輝く恵那人
- 26 ニュースと話題
- 28 夏休み、どんなことに挑戦しようかな？

◀市ウェブサイト
あなたの知りたい情報を分かりやすく提供しています。

◀市メール配信サービス
防災や観光、健診などの情報を電子メールで配信しています。



今月の表紙

料理人がプロの技を 小学生に直伝

7月25日、恵那文化センターでプロの料理人による「エーナ健康料理教室」が開催されました。これは食をキーワードに市の活性化を図る「たべる」プロジェクトの一環として昨年からの実施している料理教室。「ぎふの味・伝承名人」や「岐阜の料理師範」として地元で活躍する料理人から、地元食材を利用し健康に配慮した料理の作り方を学ぶという内容。夏休み中ということで、小学生親子を対象に行われました。

数字で見る
恵那市

人口 (7月1日現在)

総数	50,570人	(-25)
男	24,585人	(-8)
女	25,985人	(-17)
世帯	19,710世帯	(+1)
()	内は前月との比較	

人口動態 (6月異動)

出生	23人	
死亡	59人	-36人
1月からの自然増減	-208人	
転入	106人	
転出	95人	+11人
1月からの社会増減	-120人	

救急車出動回数 (6月)

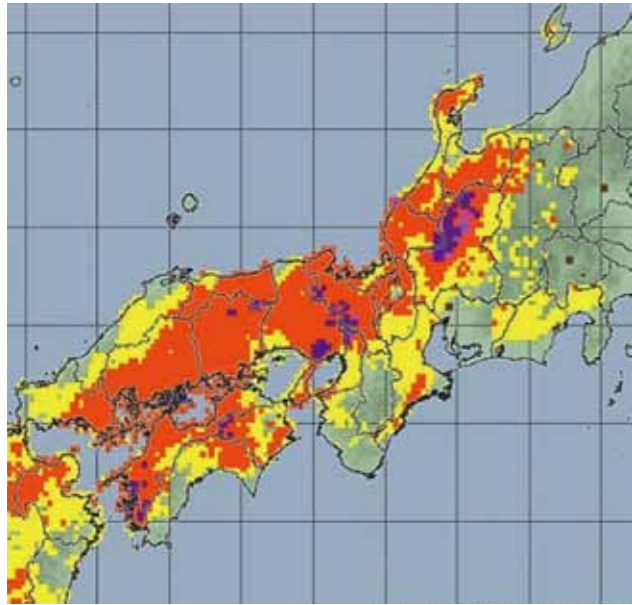
151回 (1,166回)	
()	内は1月からの累計

交通事故 (6月中の概数)

人身事故	8件	(57件)
物損事故	97件	(675件)
負傷者	10人	(72人)
死者	0人	(0人)
()	内は1月からの累計	

火災 (6月)

建物	1件	(7件)
その他	1件	(10件)
()	内は1月からの累計	



▲気象庁の土砂災害警戒判定メッシュ情報

土砂災害警戒判定メッシュ情報は、大雨による土砂災害発生危険度の高まりを、地図上で5キロ四方の地域ごとに5段階に色分けして示す情報です。常時10分ごとに更新しており、土砂災害警戒情報や大雨（土砂災害・浸水災害）警報などが発表されたときに、土砂災害警戒判定メッシュ情報から、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。避難にかかる時間を考慮して、危険度の判定には2時間先までの雨量と土壌中にたまっている雨水の量（土壌雨量指数）の予測値を用いています。危険が高まっている地域に住んでいる方は、少しでも早く、避難することを心掛けてください。メッシュ情報は、下の表にある防災気象情報のような色分けで表示されます。

土砂災害警戒判定メッシュ情報

気象などの特別警報・警報・注意報などの防災気象情報		
色が持つ意味	住民などの行動例	内閣府のガイドラインで土砂災害警戒区域などを対象に発令が必要とされる避難情報
<p>注意 (注意報級) 2時間先までに注意報基準に到達すると予想</p>	<p>[実況または予想で大雨注意報の基準に到達] 土砂災害への注意が必要。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。</p>	<p>—</p>
<p>警戒 (警報級) 2時間先までに警報基準に到達すると予想</p>	<p>[実況または予想で大雨警報の基準に到達] 土砂災害への警戒が必要。避難の準備をして早めの避難を心がける。高齢者などは速やかに土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域などの外の少しでも安全な場所への避難を開始する。</p>	<p>避難準備・高齢者等避難開始</p>
<p>非常に危険 2時間先までに土砂災害警戒情報の基準に到達すると予想</p>	<p>[予想で土砂災害警戒情報の基準に到達] 命に危険が及ぶような土砂災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況。速やかに土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域などの外の少しでも安全な場所への避難を開始する。</p>	<p>避難勧告</p>
<p>極めて危険 すでに土砂災害警戒情報の基準に到達</p>	<p>[実況で土砂災害警戒情報の基準に到達] 過去の重大な土砂災害発生時に匹敵する極めて危険な状況。命に危険が及ぶような土砂災害がすでに発生しているもおかしくない。この状況になる前に土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域などの外の少しでも安全な場所への避難を完了しておく必要がある。</p>	<p>避難指示 (緊急)</p>

突然襲ってくる土砂災害 知識と備えで命を守る

恵那市は里山が豊かなまちですが、山に囲まれ斜面が多いことから、長雨や局地的な豪雨によって、山や川は一変し、時には人命をも脅かす災害をもたらすこともあります。崖崩れや土石流、地滑りなどの正しい知識を持って、常日頃から周囲の環境を知ってみましょう。

自宅や周辺の危険箇所を知る

土砂災害から身を守るために、平時から自宅や学校、職場周辺、通学路、通勤路などのどこが危険かを調べ、知っておくことが大切です。

いざというときの安全な避難に役立ちます。県は、土砂災害防止法に基づき「土砂災害警戒区域」と「土砂災害特別警戒区域」をそれぞれ指定しています。


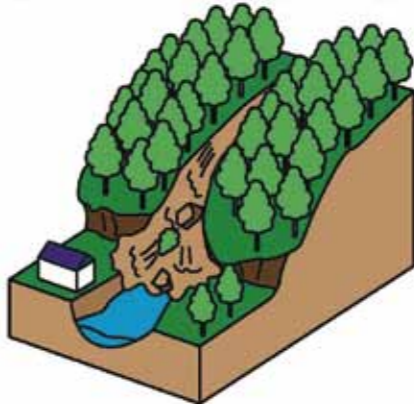

土砂災害警戒区域とは…

急傾斜地の崩壊などが発生した場合に、住民の生命または体に危害が生ずる恐れがあると認められる区域のこと。通称「イエローゾーン」と呼ばれています。

土砂災害特別警戒区域とは…

急傾斜地の崩壊などが発生した場合に、建築物に損害が生じ、住民の生命または体に著しい危険が生ずる恐れがあると認められる区域。通称「レッドゾーン」と呼ばれています。

ただし土砂災害は、警戒区域や特別警戒区域以外でも発生する恐れがあります。

崖崩れ（急傾斜地崩壊）	土石流	地滑り
<p>雨や雪解け水、地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる自然現象。</p> 	<p>山の石や土砂が、大雨などによって水と一緒に激しく流れ下る自然現象。</p> 	<p>雨や雪解け水が地下に染み込み、断続的に斜面が滑り出す自然現象。</p> 
前兆現象に注意しましょう！！		
<ul style="list-style-type: none"> 崖に割れ目が見える 崖から水が湧き出ている 崖から小石がパラパラと落ちてくる 	<ul style="list-style-type: none"> 急に川が濁り流木が流れている 山鳴りがする 雨が降り続けているのに川の水位が下がる 	<ul style="list-style-type: none"> 沢や井戸の水が濁る 地面にひび割れができる 斜面から水が噴き出す

警戒区域（危険箇所）を知る方法

警戒区域を知るには「土砂災害ハザードマップ」や市か県のウェブサイトで、「土砂災害警戒区域（イエローゾーン）」や「土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）」、「河川の浸水想定区域」を地域別に、航空写真と地形図で地図に示しています。
 市ウェブサイト <http://www.city.ena.lg.jp>
 県ウェブサイト（ぎふ山と川の危険箇所マップ） <http://kikenmap.gifugis.jp>

避難のタイミングとその行動を知る

下の図「命を守る避難行動のタイミング（土砂災害）」のとおり、土砂災害から身を守るために警戒区域や特別警戒区域から避難することが大切です。また下の図は気象庁や市から出される気象情報や避難情報の状況により、そのタイミングに応じた避難行動を示しています。

① 明るいうちの早めの避難

台風の接近や通過の場合など、あらかじめ大雨の時間帯が予測でき、土砂災害の発生する危険が夜から明け方に予測される場合、前日の明るいうちに「避難準備・高齢者等避難開始」を発表します。市が開設する指定緊急避難場所へ避難しましょう。このタイミングなら夜中の危険を伴う避難を避け、安全に避難することができます。

② 大雨警報（土砂災害）が発表

被害の発生する危険が低い段階です。少し遠くでも最寄りの指定緊急避難場所へ避難しましょう。特に近所の一時避難場所が警戒区域や特別警戒区域にある場合、この時点で避難しておくことが重要になります。

③ 土砂災害警戒情報が発表

警戒区域や特別警戒区域では、土砂災害が発生する可能性があります。区域から離れ、最寄りの指定緊急避難場所へ避難しましょう。避難途中に警戒区域や特別警戒区域を通過することは危険ですので、区域を避けた経路を使うか、近所の安全

な一時避難場所へ避難してください。

④ 大雨特別警報が発表

外出することは危険です。少しでも土砂災害から身を守るため、自宅の2階以上で山側から離れた部屋などにとどまってください。この段階で自宅内の安全な場所にとどまるとい選択も避難行動の一つです。

⑤ 市からも避難情報

災害などによる危険が迫った場合、市民の皆さんの安全を確保するため、市から「避難準備・高齢者等避難開始」や「避難勧告」、「避難指示（緊急）」を発令します。防災行政無線や音声告知器、市メール配信サービス、広報車などで周知を図ります。しかし、市からの情報を待っているのではなく、「命を守る避難行動のタイミング」を基に自主的な避難行動を心掛けてください。早めの自主避難で指定緊急避難場所

情報を得る

手段を確保する

市は、主に防災行政無線や音声告知器、市ウェブサイトや市メール配信サービスを使って、気象情報や避難情報をお知らせしています。

メール配信サービスの登録方法

携帯電話（フィーチャーフォン）かスマートフォンでQRコードを読み取るか「ena-mailmag@sg-m.jp」宛に、空メールを送信してください。

その際にお手持ちの携帯電話（フィーチャーフォン）やスマートフォンに「迷惑メール対策設定」を設定している場合、登録用のURLを通知する電子メールが届かない場合があります。この場合「sugumail.com」からの受信を許可するメール設定を行ってください。電子メール配信サービスでは、観光情報やイベント情報、火災、犯罪に関する情報も配信しています。



▲登録用QRコード

9月2日（日曜日）は「市防災訓練の日」です。訓練の流れは以下のとおりです。皆さん、ぜひ参加ください。

午前8時 訓練開始

防災行政無線と音声告知器、市メール配信サービスで地震発生（訓練）をお知らせします。地震による揺れが来たことを想定し、その場で身を守る行動（低い姿勢を取り、頭を守り、動かない）をとりましょう。

午前8時30分 訓練①

「避難・人員確認訓練」

避難した一時避難場所などで集まった人員を把握し、報告する訓練です。災害時に安否確認できない場合を想定し、特に避難に支援が必要な方をどのように助け合うかみんなで考えましょう。

午前9時 訓練②

「地区別訓練」

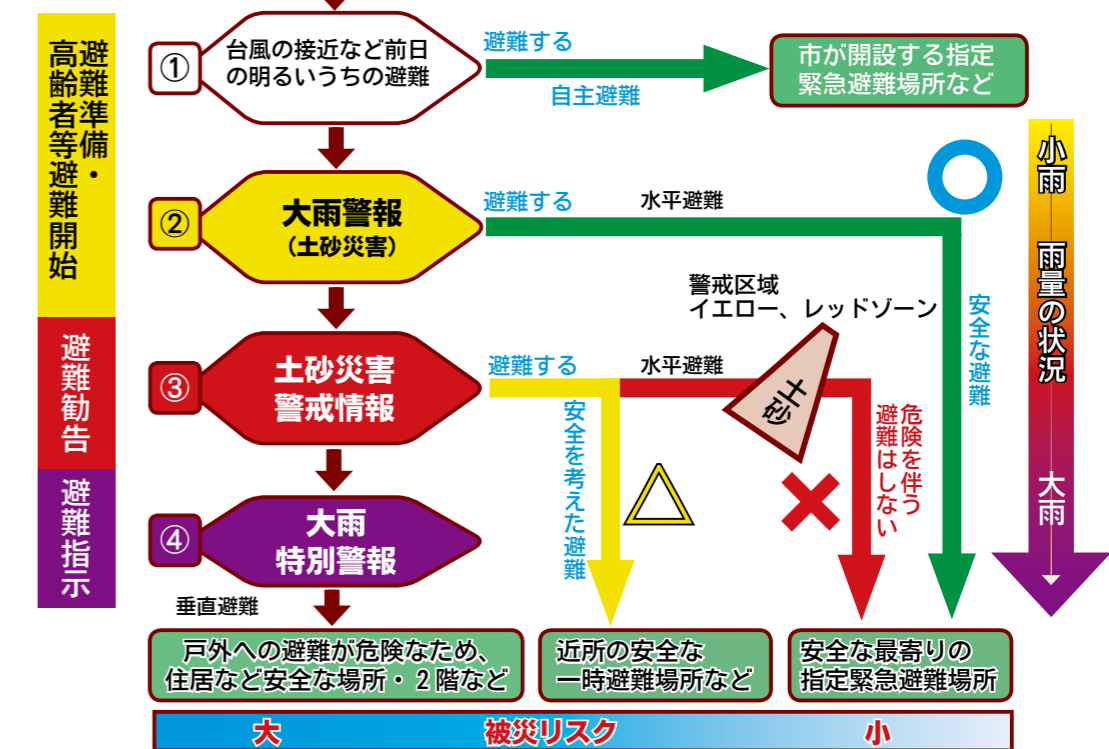
地区防災計画に沿って実施される地域主体の訓練（地域総合訓練・単位自治会別訓練）です。内容は、地域の特性に合わせ、避難所開設・運営訓練、消火訓練、炊き出し訓練、避難経路確認訓練などが計画されています。みんなの力で地域防災力を高めましょう。

正午ごろ 訓練終了

終了時刻は、地域の訓練内容によって異なります。

命を守る避難行動のタイミング（土砂災害）

ハザードマップで警戒区域（レッド、イエローゾーン）内にお住まいの皆さん



大雨や土砂災害以外に地震にも備えて！

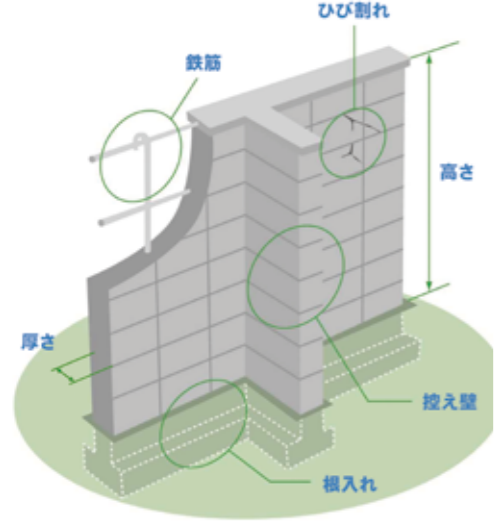
ブロック塀の点検に協力を！

6月18日に大阪府北部で発生した地震で、ブロック塀が倒壊し、通行者が死亡する事故が複数発生しました。正しく施工されていないブロック塀や老朽化したブロック塀は、地震時に倒壊して通行人に危害を及ぼす恐れがあるだけでなく、避難や救援活動の妨げになる可能性があります。日頃から所有者の責任による適切な管理が必要です。

県ではブロック塀の所有者にへの、周知と啓発を行うことを決定しました。県からの要請を受け、市では8月20日から24日までに通学路を中心に市職員が啓発を行います。市道から、目視による外観の確認を行います。また、啓発のためのチラシを配布することもあります。

問 都市住宅課（内線233）

▼ブロック塀の点検のチェックポイント



出典：パンフレット「地震からかわが家を守ろう」日本建築防災協会 2013.1より一部改